

readers voice
**読者
コーナー**

読者の皆さんの広報しようばらを読んだ感想や、庄原市への思いなどを掲載するコーナーです。1月号で添付した庄原写真はがきでお寄せいただいた声をお届けします。

広報しようばら1月号に添付した写真はがき



写

真はがき付の、広報しようばら、また喜んで利用いたします。今回も早速出し、比和町出身の友人がとっても喜んでくれました。ちなみに、私は昔から情報誌に興味があり、昭和50年以来現在まで40年間保存しております。昔は「庄原市政だより」で一枚の4ページで事務的でした。

しかし、40年も経てば世の移り変わり歴史を感じ、随分進歩もするものですね。毎月の発行待っています。広報担当の方々頑張ってください。(となりのミヨちゃん80歳女性)

▼今月末で合併して10年です。合併時の広報紙は16ページでした。ご期待に沿えるよう頑張ります。

新

春の広報紙はとてもステキな写真はがき第2弾でうれしくなりました。遠方の古里を恋うる同級生や近県の友へも早速春の便りをしようと思います。

毎月の広報紙で色々なことを知らせてもらい、とても参考になり助かります。また、改めて庄原のよい所がたくさんあることに気付かせてもらいます。感謝！(松ぼっくり75歳女性)

▼庄原市には本当に良い所がたくさんあります。読者の皆さんのお気に入りのスポットなどもぜひご紹介ください。

毎

月楽しみに拝見させていただきます。今月は写真はがき含め、ボリュームのある内容でした。中でも、木山耕三市長と西田篤史さんの対談は非常に興味深かったです。西田さんの一言一言とても的を得ていたように思います。

特に「セツトストックに変わるコンサートイベントを」は、私もぜひ実現していただきたいと思います。

私は10年ほど前、松江市の大学に通っていました。当時、全く知らなかったセツトストック。後になって、そんな楽しいイベントがあったとは...と知らなかったことを後悔しました。ただ、当時は知っていても行く手段がなかったかもしれません。

でも今は違います。尾道松江線で庄原はぐっと近くなりました。もし、大々的に周知したら...もし、交通手段の無い人のためにツアーバスなどで会場を結べば、参加したい人はたくさんいると思います！

庄原に移住してきた市民の

一人として、庄原が盛り上がる名物となるイベントを期待しています。(あんちよび29歳女性)

新

春特別対談、市長と西田篤史を読んだの思いつきです。

庄原市で生まれ育ち、現在広島市に住んでおられる人を対象に、春と秋それぞれ1回程度、備北交通のバスを貸し切り、運行計画を作成し、観光計画書を起案作成し、呼びかけ運動キャンペーンを計画されてみてはいかがでしょう。(Y・Y77歳男性)

▼ご提案ありがとうございます。尾道松江線全通は、庄原市にとって大きなチャンスですので、ご提案いただいたものも含め、さまざまな仕掛けを考えていきたいですね。

高

町の馬場地区では、中山間事業の一環として、とうもろこしとかぼちゃの植え付けと収穫を地域全体で取り組んでいます。

中でも高保育所との交流

は、園児の皆さんの楽しそうな笑顔に頑張る意欲をもらい、途中、除草・防除作業と大変なことが多い中、収穫のときの喜びは格別なものがあります。

昨年は、万次郎という品種のかぼちゃを植え付けたところ、かなりの収穫があり、地域全体に配分することができました。甘さ抜群で冬に不足しがちなビタミンが補充されスープなどにして食しました。おかげで風邪もひかず、寒いこの冬を乗り切りたいと思っています。(ユーミン65歳女性)

▼手塩にかけた野菜は本当に格別ですよ。みんなで作業するとおののこ。心も身体もほかほか。

ご紹介したほかにも、はがきをいただき、貴重なご意見をお寄せいただきましたが、無記名でしたので、ご紹介は控えさせていただきます。